

防災と減災について(5)

香住丘校区自主防災会



新年明けましておめでとうございます。
今回は地震に備えて、家の中の安全対策についてお話ししよう。

② 地震はいつ起こるか分かりません。常日頃の心構え、習慣が大事です。

- * 台所で調理した後は、包丁、重い鍋等はすぐに片づけましょう。
地震が起こると凶器化して危険です。
- * リビング等の椅子にはクッションを置いて、落下物から頭を守りましょう。
- * 玄関には避難時に備えて、いつも家族全員分の靴をすぐに履ける様に爪先を外に向けて並べて置きましょう。
- * 飛散したガラス等から足を保護するために、室内履きを準備、寝室に置いておきましょう。
- * シャワーの時の突然の断水に備え、泡を流す湯を洗面器に溜めておきましょう。
- * 浴槽には水を溜めておき、断水時のトイレ用や浄水器があれば飲料水として使えます。
(水洗トイレは排水管の損傷で使えないこともあります。
- * 廊下や階段には物を置かない様にして、いつも避難経路を確保しておきましょう。
- * 食料、水は地震後の在宅避難に備え一週間から 10 日分、出来れば一ヶ月分備えておきたいものです。

③ 家具類の地震対策

転倒防止対策の家具固定は大きな地震では倒れる可能性があります。

然し瞬間に倒れるか、少々の時間をおいて倒れるかが命を守る分岐点になります。

小さな手間暇が命を守ることになります。

- * 冷蔵庫の転倒防止のための固定化、冷蔵庫の扉、引出しが開かない様にロックしましょう。
地震で飲食品が飛び出ると避難時大変です。
- * 箕笥や食器棚は転倒防止をして、扉には開き防止のストップバーを取り付けましょう。
- * 食器の下に滑り止めシートを敷くと飛び出しに有効です。
- * 食器棚等のガラス扉には、ガラスの部分に飛散防止フィルムを貼付しましょう。飛散した破損ガラスは大変危険です。
- * 居間のテレビ、ステレオ、等は地震で吹っ飛ばない様に固定しましょう。
- * 火事に備え、難燃性、防炎性のカーテンが望ましいです。
- * 寝る場所は箕笥等家具が倒れてこない位置とし、また家具が倒れても出入り口を塞がない様に配置しましょう。

以上の通り、たくさんやるべき事がありますが、ご自身とご家族の安全を守るために出来る事から一つ一つ対応して行きましょう。

次回は「非常持ち出し品」について、お話ししましょう。